

第39回全国都市緑化北海道フェア基本計画(概要版)

1. 開催概要

- 1) 名称・愛称 正式名称：第39回全国都市緑化北海道フェア 愛称：ガーデンフェスタ北海道2022

開催理念	基本方針
豊かな森林溪原や湖沼等の雄大な自然に恵まれた北海道。日々の生活の場においても自然は身近な存在であり、花や緑を愛でる心が、暮らしに潤いを与え、安らぎと生き甲斐につながる。 市民の主體的な花と緑の活動が続けられてきた恵庭市。その実績は、“まちづくり”“ひとづくり”に大きな成果を生み、地域社会の元気の源となっている。 これまで築きあげられてきた“恵庭の花の文化・市民の文化”の魅力が集約され、更なる飛躍の地となる“花の拠点”をメイン会場に、北海道の花と緑の文化を広く全国に発信する全国都市緑化フェアを開催します。	① 北海道ならではの花とガーデンの魅力で人々を感動させるフェア ② 希望と活力あふれる“花のまちづくり”を次の世代に継承するフェア ③ “日々の暮らしの潤い”“地域の絆”“豊かな地域社会”につながるフェア ④ 花と緑の取組の歴史と経緯を踏まえ、多様な主体が効果的に連携するフェア

- 3) 開催テーマ 『花と緑 ～恵みの庭を人がつながる北の大地から。』
4) 主催者等 提唱：国土交通省 ／ 主催：北海道、恵庭市、公益財団法人都市緑化機構
5) 開催時期 令和4年6月25日（土）から7月24日（日）まで

※北海道フェア開催時の新型コロナウイルス等感染症の状況や、その時点における国・道・恵庭市の対応方針等に基づき適切な対策を講じることで、感染拡大の抑制に努めるものとする。

2. 会場計画

「メイン+まちなか会場」会場計画

特徴① 花の拠点整備事業と恵庭かわまちづくり事業との連携

展開方針

- 北海道を代表するガーデナーがデザインした7つのガーデンからなる花の拠点（はなふる）をメイン会場とし、それぞれ特色あるガーデンを楽しんでいただくほか、センターハウス内観光案内所の活用により、北海道内の周道も促すことが可能。
- 隣接する漁川（いざりがわ）の河川区域との連携により、花と緑のみならず、川と触れ合える機会を創出し、花と緑の大切とはもちろん、川や水の大切についても学ぶことができる。
- 仮設駐車場を確保し、周辺交通への影響を抑える。
- 来訪者は、隣接する道と川の駅「花ロードえにわ」や農畜産物直売所「かのな」において、恵庭や北海道の「食」も楽しむことができる。
- 公共交通機関や徒歩での来場が容易な会場配置とし、自家用車での来場を抑える。

休憩エリア①・にぎわい園路

西側（道と川の駅側）のにぎわいのゾーンです。
「アーカイブプロムナード」は恵庭の花のまちづくりのあゆみを紹介する園路、常設ステージ周辺、中央広場の外周園路は、飲食・物販や各種公演も行われます。

中央芝生広場

7つのガーデンに囲まれた中央芝生広場。開放的な空間にはステージや牧草ロールアートの展示が、周囲の園路はハンギングバスケットやコンテナガーデンが彩ります。

ガーデンエリア

花の拠点（はなふる）のメインエリアです。北海道を代表するガーデナーによる7つのガーデンがあります。それぞれのガーデンは趣向を凝らして設計し、個性的に作り上げられています。



至千歲

6) 会場

メイン会場・まちなか会場	花の拠点・中島公園、隣接する河川空間及びまちなか会場《市内の花のまちづくりの活動地域》 (恵庭市)
協賛会場	えこりん村、サッポロビール北海道工場、恵庭ふるさと公園、ルルマップ自然公園ふれあ んど(恵庭市)イコロの森(苫小牧市)、いわみざわ公園(岩見沢市)、 ゆにガーデン(夕張郡由仁町)、国営滝野すずらん丘陵公園(札幌市南区) ウボイ(民族共生象徵空間)(白老郡白老町)、真駒内公園(札幌市南区)他各道立公園 など
スポット会場	駅や公共空間、イベントを行う会場など

- 7) 入場方式 メイン会場：無料 / 協賛会場：各事業主体の入場方式による。
- 8) 概算事業費：おおむね7億円 / 目標来場者数：期間中約30万人（メイン会場）
- 9) シンボルマーク：ひと目で北海道とわかる形であり、花と緑を愛する人の姿を表す。
- 10) イメージキャラクター：「ガーデンフェスタ北海道フレンズ」としてPR活動を行う。



キュンちゃん ※この4キャラクターを基本とする。



特徴② メイン会場を中心に恵庭市内の“花のまちづくりの魅力”や
“市民の日々の活動”を巡り 楽しみ実感できる会場構成

展開方針

展開方針

- JR 恵み野駅から、恵み野商店街等を散策しながら歩て向かう。商店街のガーデンテーブル、ポケットパノのオープンガーデン等を楽しめるルートを設定する。
- 「花さんばストリート祭」や「ガーデンツアー」などの活動を継承するとともに、フェアを契機に、市民参加による公共空間の緑化、個人の庭園づくりなどの活動を活性化させる。
- JR 恵み野駅からメイン会場までの誘導として地元の小中学生が作成したコンテナに花を植栽したものを並べる。



フェア会場図

P 南島松駅
Minamishima



至千歳
To Chitose



第39回 全国都市緑化北海道フェア

ガーデンフェスタ北海道2022

開催期間
2022
(令和4年)

6/25(土) ▶ 7/24(日)

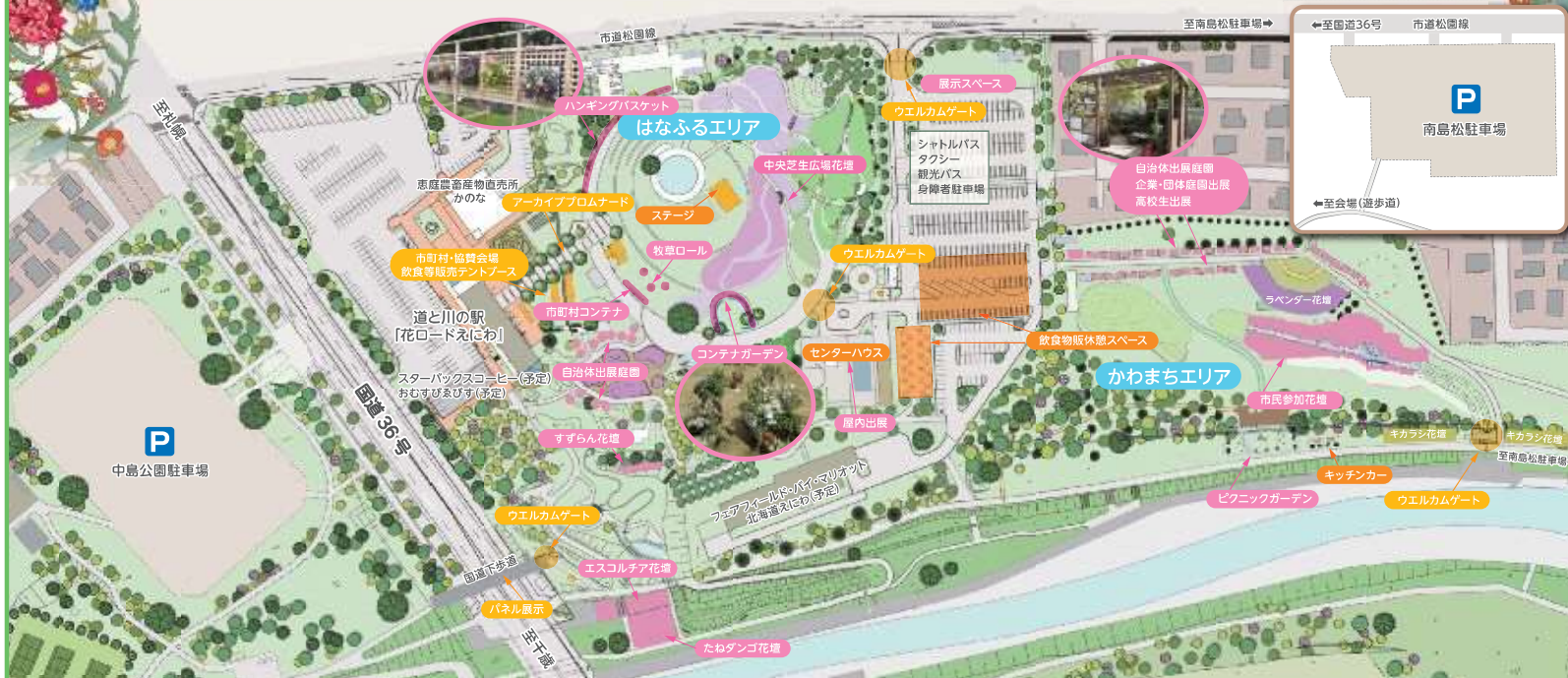
会場
恵庭市
花の拠点「はなふる」周辺他

恵みの庭を人がつながる北の大地から

ガーデンフェスタ北海道2022のメイン会場は、恵庭市の新たな花の観光地として2020年11月にオープンした花の拠点「はなふる」周辺。これまでの恵庭の「花の文化」「市民の文化」の魅力が集約された、新しい観光スポットを舞台に、北海道の花と緑の文化を広く全国に発信します。



※ご来場の際は公共交通機関をご利用ください



The road to Garden Festa Hokkaido 2022

2021 6 7 8 9 10 11 12 2022 continue

9/30thu テーマソング制作発表会

北海道出身のシンガーソングライター半崎美子さんによるテーマソング制作を発表。



11/20sat ガーデンフェスタ北海道2022 音楽祭

北海道文教大学・北海道文教大学附属高校選抜チームと陸上自衛隊北部方面音楽隊による演奏会。



6/26sat カウントダウンスタート!

フェア1年前イベントにて、フラワーアンバサダー坂本星美さんの就任発表&ガーデンフェスタバージョンのキュンちゃんの公募デザイン発表。



10/18mon~10/29fri 「たねダンゴ」作り

恵庭市内の園児による「たねダンゴ」作りと植え込み。



カウントダウンメーター

ガーデンフェスタ北海道2022開催まで



ガーデンフェスタ北海道2022と一緒に盛り上げる仲間たち

北海道観光PRキャラクターのキュンちゃんと、恵庭ゆかりのキャラクター達が応援!

■ガーデンフェスタ北海道フレンズ GARDEN FESTA HOKKAIDO FRIENDS



恵庭市内の有志が集まり結成された市民団体

■緑化フェアサポーターズクラブ

企画段階から市民がかかわる、今までの緑化フェアにはなかった取り組みです。アイデアを出し合い、「はなふる」の「ツアーガイド」や「オリジナルクラフトビールの製作」などを手掛けています。10代から80代の幅広い世代が活躍中です。



2022.6.25 恵庭の街が 咲き誇る。



第39回 全国都市緑化北海道フェア ガーデンフェスタ北海道2022

- ・造園技術を競う企業等の出展庭園コンテスト
 - ・市民参加のハンギングバスケット・コンテナガーデンコンテスト作品の展示
 - ・高校生を対象とした全国造園デザインコンクールの優秀作品の展示
 - ・市民団体などのステージイベント
 - ・恵庭市、北海道、地元企業のPR企画
 - ・さまざまなキッチンカー出店や花苗販売
 - ・子ども向け遊具のあるピクニックガーデン
 - ・サポーターズクラブによる各種企画
- など、ご家族でも楽しめるイベントを計画中です。
■2022年6月からのフェア開催まで、様々なプレイベントを開催します

開催の詳細情報、
プレイベント情報は
公式WEBサイトで
携帯・スマホはコチラから→

<https://garden-festa2022.jp/>

SNSでも情報発信中! フォローをお願いします。

Instagram Twitter Facebook



提唱:国土交通省 主催:北海道、恵庭市、公益財団法人都市緑化機構